

# 平成29年度の 生乳及び牛乳乳製品の需給見通しと 当面の課題について

平成29年9月29日



一般社団法人 **Jミルク**  
Japan Dairy Association (J-milk)

# 1. 地域別生乳生産量の動向

## 【生乳生産量予測の前提】

・北海道及び都府県の予測値は、平成 29 年 7 月までの生乳生産量データに基づき、気温や乳牛頭数等を説明変数とした予測モデル (ARIMA モデル) による推計値を基本に算出。なお、平成 29 年度の気温は、平年並で設定。

表 1-1 : 平成 29 年度の地域別生乳生産量 (見通し)

	全 国		北海道		都府県	
		前年比		前年比		前年比
4 月	617	97.8%	321	97.7%	296	97.9%
5 月	645	98.8%	339	98.7%	306	98.8%
6 月	614	98.1%	328	97.4%	286	98.9%
7 月	610	96.7%	331	96.6%	279	96.8%
8 月	599	98.0%	329	99.6%	270	96.3%
9 月	578	98.8%	315	100.3%	263	96.9%
10 月	593	98.8%	320	100.2%	273	97.3%
11 月	574	99.1%	307	100.7%	267	97.4%
12 月	604	99.0%	324	100.5%	280	97.4%
1 月	615	99.4%	329	101.3%	286	97.4%
2 月	564	99.6%	300	101.1%	264	98.0%
3 月	631	99.5%	334	100.9%	297	98.0%
第 1 四半期	1,876	98.2%	988	98.0%	888	98.5%
第 2 四半期	1,787	97.8%	975	98.8%	812	96.7%
第 3 四半期	1,772	99.0%	951	100.4%	820	97.4%
第 4 四半期	1,810	99.5%	963	101.1%	847	97.8%
上期	3,663	98.0%	1,963	98.4%	1,700	97.6%
下期	3,582	99.3%	1,914	100.8%	1,668	97.6%
年度計	7,245	98.6%	3,877	99.5%	3,368	97.6%

※表は、着色部分が実績、白枠部分が予測 (平成 29 年 8 月以降)。以下、全て同様。

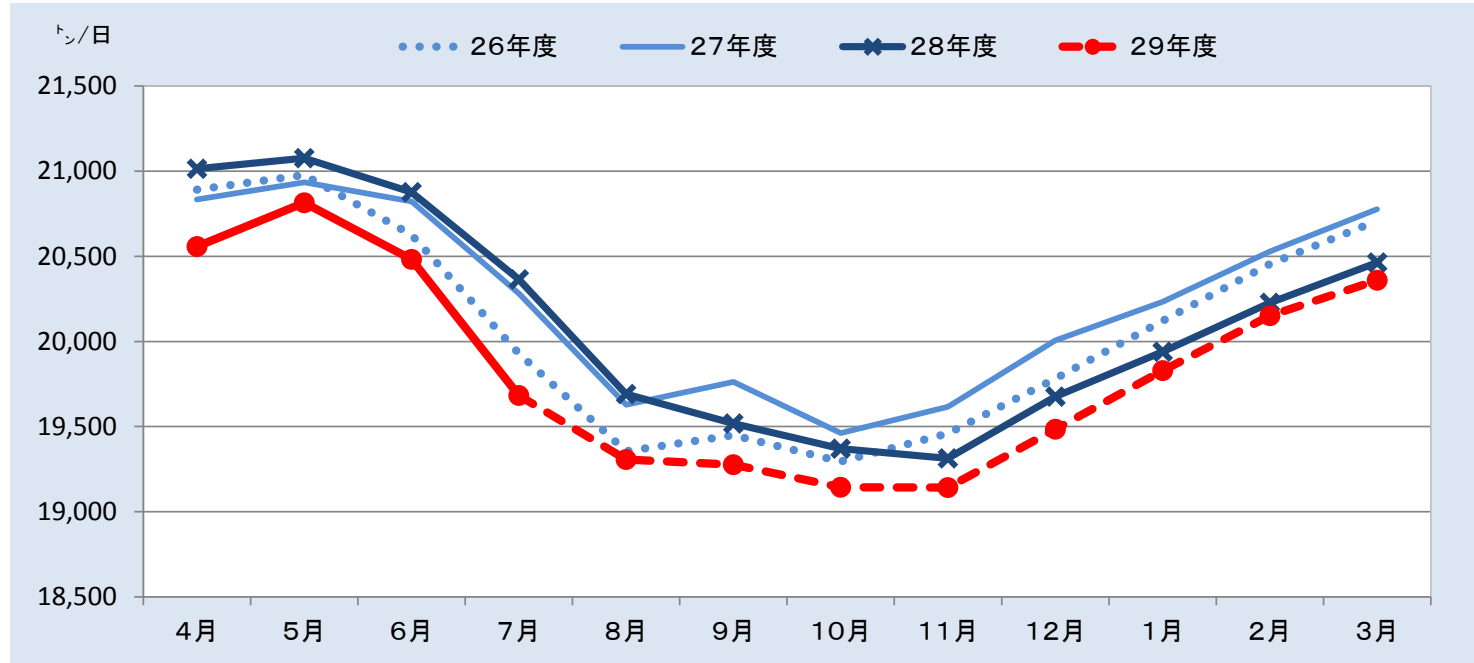
## 【生乳生産量の見通し】

29 年度の生乳生産量は、北海道ではほぼ前年並み (3,877 千トン・前年比 99.5%) であるものの、都府県では前年度を下回り (3,368 千トン・同 97.6%)、その結果、全国の生乳生産量は前年度を下回る (7,245 千トン・同 98.6%) 見通しである。

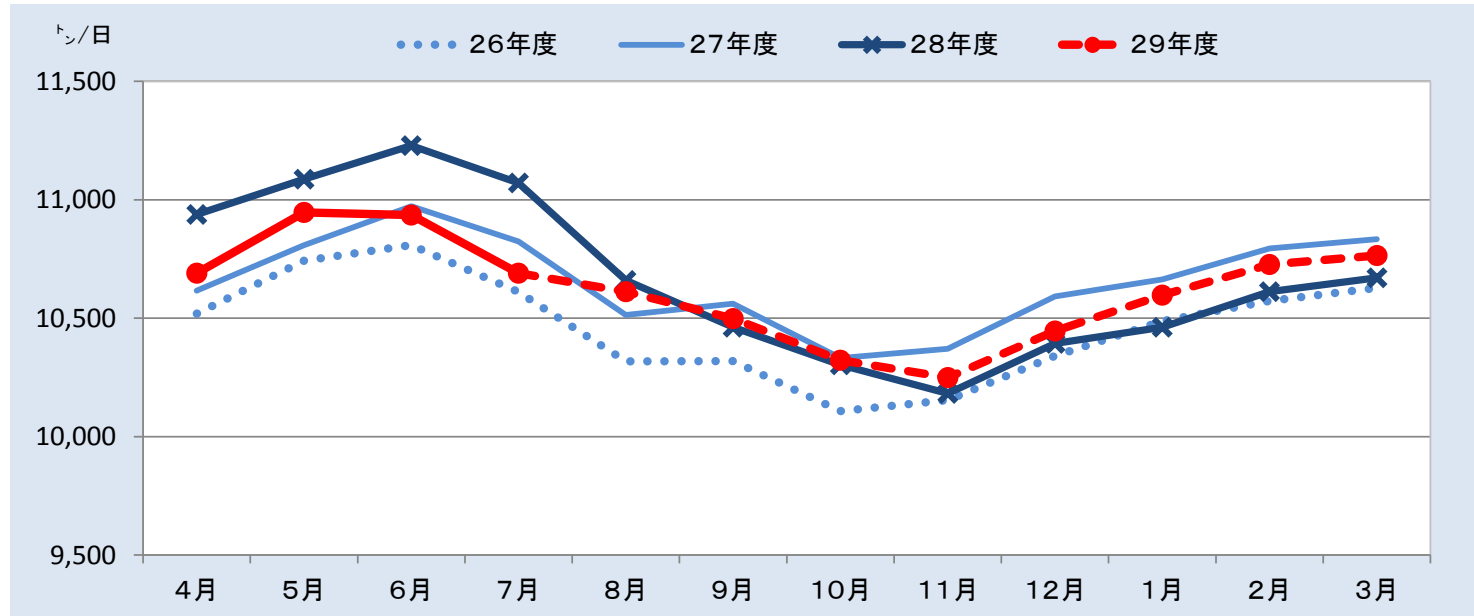
※全国 7,245 千トン・98.6% (前回見通し 98.4%)、

北海道 3,877 千トン・99.5% (同 99.6%)、都府県 3,368 千トン・97.6% (同 97.1%)

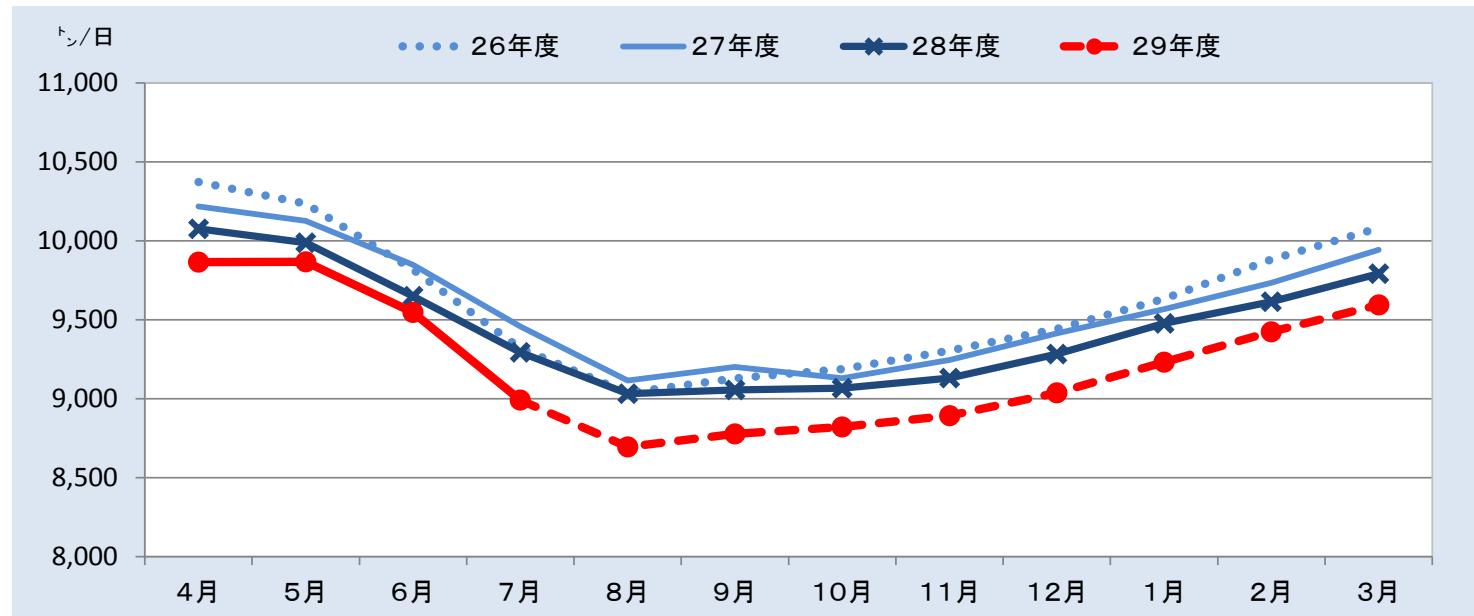
グラフ 1-1 : 全国の生産量 (日均量)



グラフ 1-2 : 北海道の生産量 (日均量)



グラフ 1-3 : 都府県の生産量 (日均量)



## 2. 牛乳等生産量の動向

### 【牛乳等生産量予測の前提】

・各々の予測値は、平成 29 年 7 月までの生産量データに基づき、気温や平日日数等を説明変数とした予測モデル (ARIMA モデル) による推計値を基本に算出。なお、平成 29 年度の気温は、平年並で設定。

表 2-1 : 平成 29 年度の牛乳等生産量 (見通し)

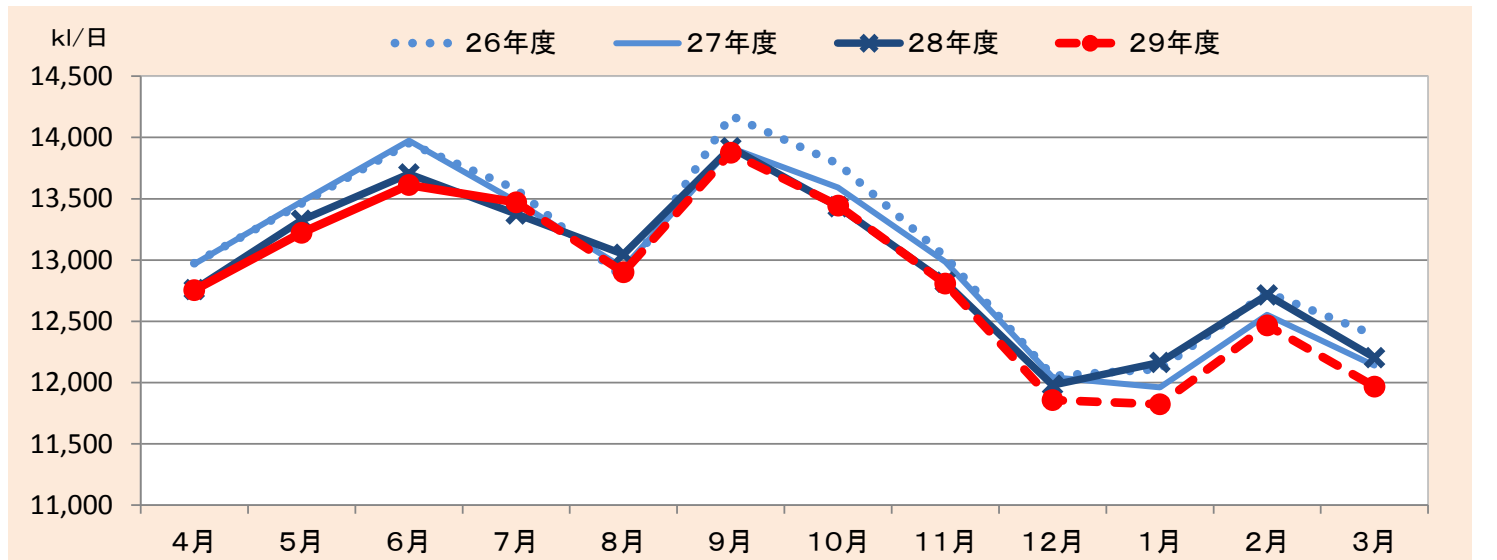
	牛乳類		牛乳		加工乳		成分調整牛乳		乳飲料		はっ酵乳	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
4月	383	100.0%	249	101.5%	8	95.3%	29	104.9%	97	95.2%	92	94.9%
5月	410	99.2%	267	100.3%	8	90.6%	30	102.6%	105	96.5%	96	96.5%
6月	408	99.4%	267	100.2%	8	104.1%	30	102.2%	104	96.2%	93	98.5%
7月	418	100.7%	266	102.6%	7	94.9%	32	103.8%	112	96.1%	93	100.1%
8月	400	98.9%	247	99.9%	8	95.9%	32	101.5%	113	96.3%	90	99.0%
9月	416	99.7%	268	100.3%	8	98.3%	30	100.4%	110	98.1%	90	100.8%
10月	417	100.1%	272	100.3%	8	97.8%	30	102.1%	107	99.1%	92	100.2%
11月	384	99.9%	257	100.2%	8	94.7%	27	101.4%	92	99.2%	87	100.1%
12月	368	99.0%	245	100.2%	9	94.2%	26	100.6%	87	95.9%	85	100.2%
1月	367	97.2%	245	98.0%	8	90.1%	27	96.8%	86	95.7%	88	100.4%
2月	349	98.0%	236	98.7%	8	90.7%	25	97.4%	80	97.2%	85	102.9%
3月	371	98.1%	243	98.9%	8	92.7%	28	97.6%	92	96.7%	96	104.2%
第1四半期	1,201	99.5%	783	100.7%	24	96.2%	88	103.2%	307	96.0%	281	96.6%
第2四半期	1,234	99.8%	782	101.0%	23	96.4%	93	101.9%	336	96.8%	273	100.0%
第3四半期	1,169	99.7%	774	100.2%	26	95.5%	83	101.4%	286	98.1%	265	100.1%
第4四半期	1,087	97.8%	724	98.5%	24	91.2%	80	97.3%	258	96.5%	269	102.5%
上期	2,435	99.6%	1,565	100.8%	47	96.3%	181	102.5%	643	96.4%	554	98.2%
下期	2,255	98.7%	1,497	99.4%	50	93.3%	164	99.3%	544	97.3%	534	101.3%
年度計	4,690	99.2%	3,062	100.1%	97	94.7%	344	101.0%	1,187	96.8%	1,089	99.7%

### 【牛乳等生産量の見通し】

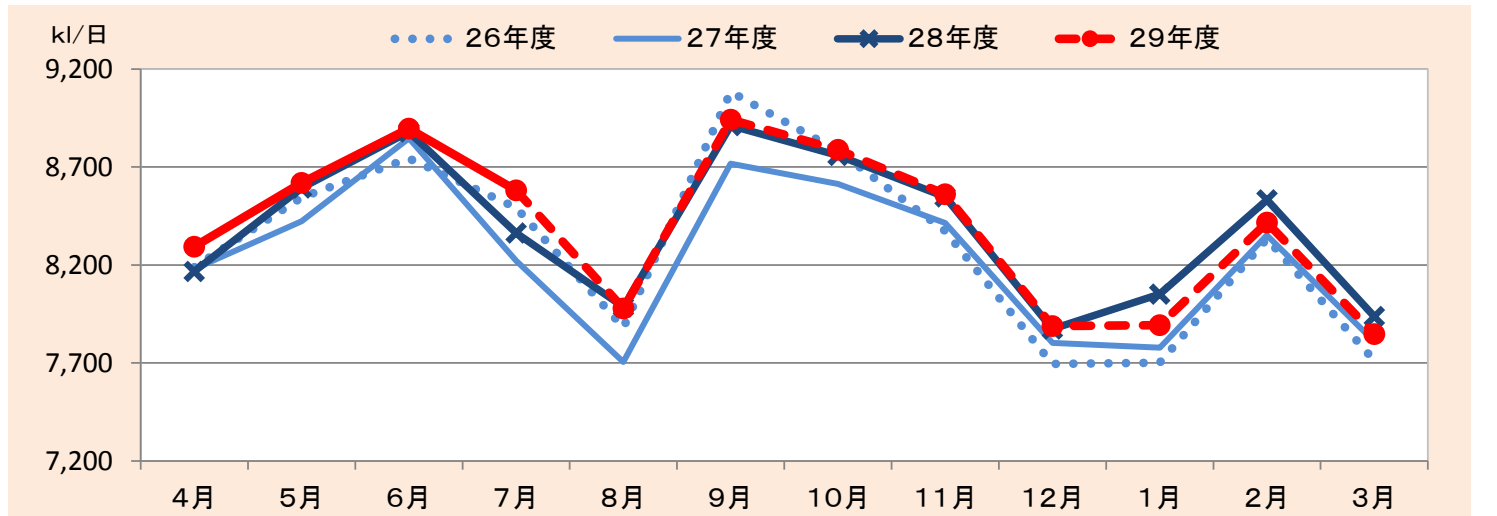
29 年度の牛乳等生産量は、「牛乳類」は前年をやや下回る (4,690 千 K1・前年比 99.2%) の見通し。「はっ酵乳」は、大きな伸びは一巡するものの、引き続き堅調な需要が見込まれ、通期では前年をやや下回る (1,089 千 K1・同 99.7%) 見通しである。

※牛乳類 4,690 千 K1・99.2% (前回見通し 99.0%)、牛乳 3,062 千 K1・100.1% (同 99.2%)、加工乳 97 千 K1・94.7% (同 92.8%)、成分調整牛乳 344 千 K1・101.0% (同 100.6%)、乳飲料 1,187 千 K1・96.8% (同 98.4%)、はっ酵乳 1,089 千 K1・99.7% (同 100.4%)

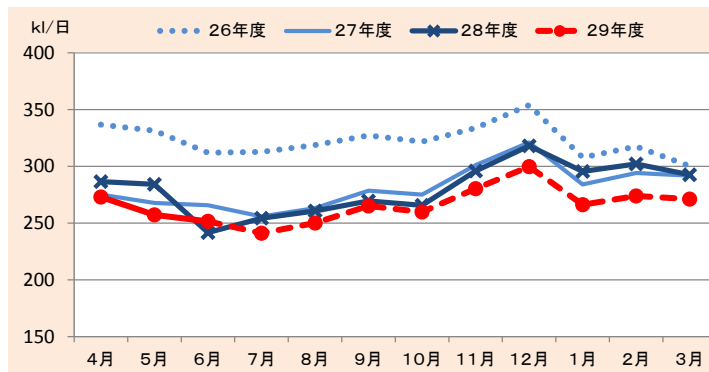
グラフ 2-1 : 牛乳類 (牛乳・加工乳・成分調整牛乳・乳飲料) の生産量 (日均量)



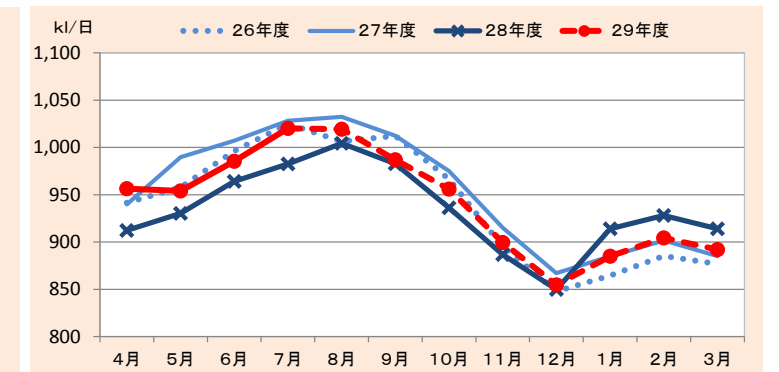
グラフ 2-2 : 牛乳の生産量 (日均量)



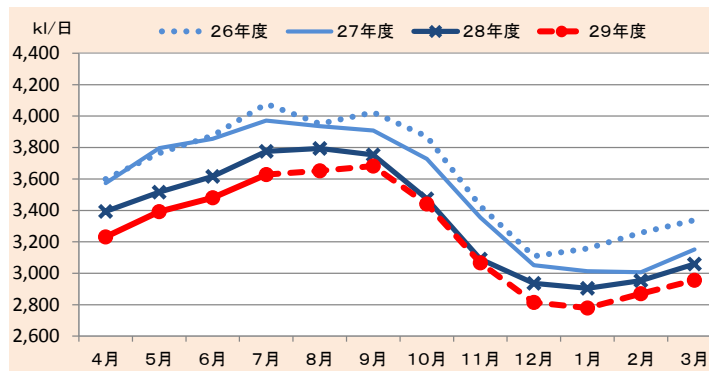
グラフ 2-3 : 加工乳の生産量 (日均量)



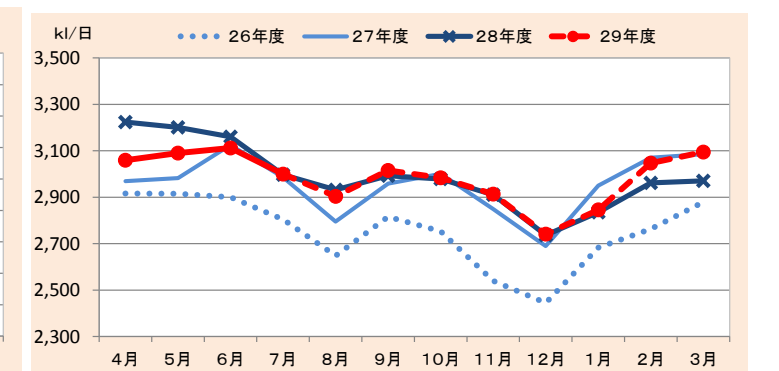
グラフ 2-4 : 成分調整牛乳の生産量 (日均量)



グラフ 2-5 : 乳飲料の生産量 (日均量)



グラフ 2-6 : はっ酵乳の生産量 (日均量)



### 3. 用途別処理量の動向

#### 【用途別処理量予測の前提】

- ・生乳供給量は、生乳生産量から自家消費量を差し引いて算出(自家消費量は、各地域の直近までの動向を踏まえ設定)。
- ・飲用等向処理量は、牛乳、加工乳、成分調整牛乳、乳飲料、はっ酵乳の予測生産量を基に、生乳使用係数を乗じ算出。
- ・乳製品向処理量は、生乳供給量と飲用等向処理量の差。

表3-1：平成29年度の生乳供給量及び用途別処理量（見通し）

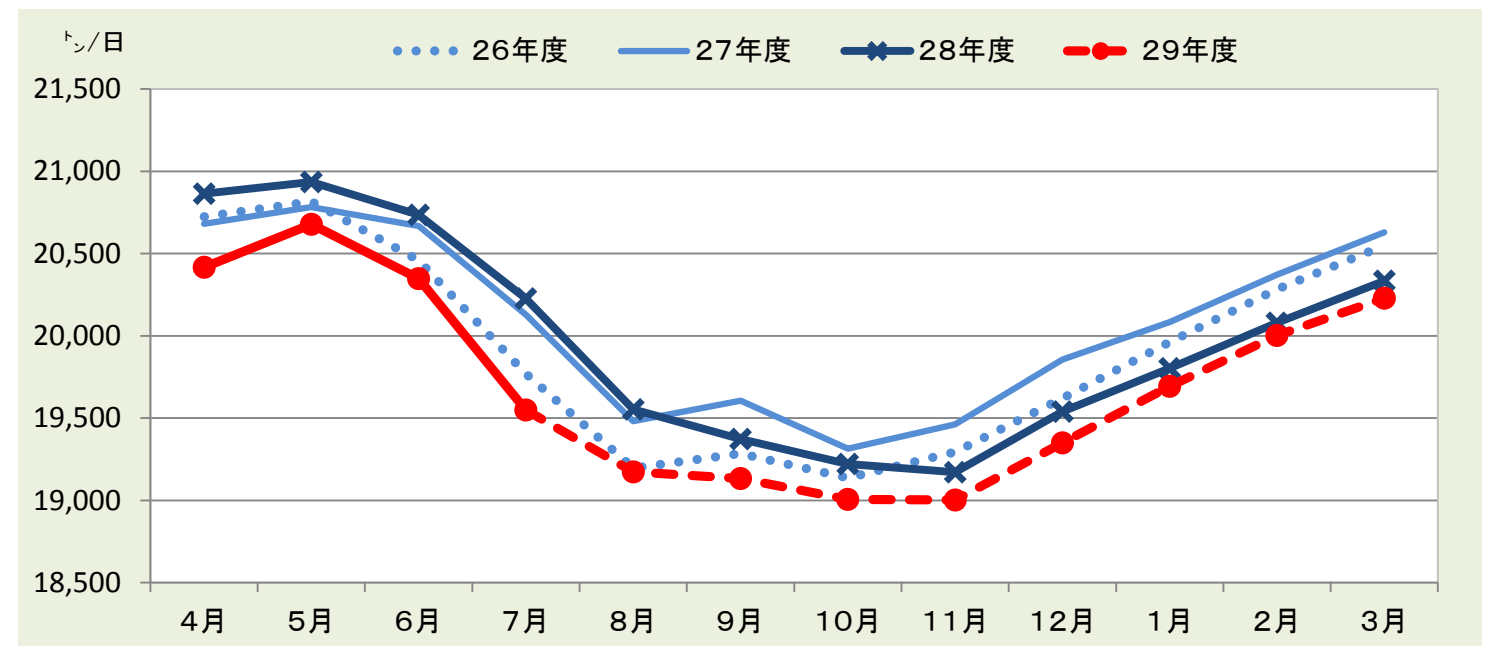
	生乳生産量		自家消費量		生乳供給量		飲用等向		乳製品向	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
4月	617	97.8%	4	93.6%	613	97.9%	332	101.3%	280	94.1%
5月	645	98.8%	4	97.3%	641	98.8%	356	100.5%	285	96.7%
6月	614	98.1%	4	95.9%	610	98.1%	354	99.7%	257	96.0%
7月	610	96.7%	4	96.9%	606	96.7%	355	101.1%	251	91.0%
8月	599	98.0%	4	97.0%	594	98.1%	336	100.7%	259	94.9%
9月	578	98.8%	4	98.4%	574	98.8%	359	101.1%	215	95.1%
10月	593	98.8%	4	92.9%	589	98.9%	360	101.2%	229	95.4%
11月	574	99.1%	4	98.0%	570	99.1%	338	101.1%	232	96.4%
12月	604	99.0%	4	98.7%	600	99.0%	320	100.9%	280	97.0%
1月	615	99.4%	4	99.2%	611	99.5%	325	98.0%	285	101.2%
2月	564	99.6%	4	99.3%	560	99.6%	309	98.7%	251	100.8%
3月	631	99.5%	4	100.1%	627	99.5%	325	98.9%	302	100.1%
第1四半期	1,876	98.2%	12	95.6%	1,864	98.3%	1,042	100.5%	822	95.6%
第2四半期	1,787	97.8%	13	97.4%	1,774	97.8%	1,049	101.0%	725	93.5%
第3四半期	1,772	99.0%	13	96.5%	1,759	99.0%	1,018	101.1%	741	96.3%
第4四半期	1,810	99.5%	12	99.5%	1,798	99.5%	960	98.5%	838	100.7%
上期	3,663	98.0%	25	96.5%	3,638	98.0%	2,091	100.7%	1,548	94.6%
下期	3,582	99.3%	25	98.0%	3,557	99.3%	1,978	99.8%	1,579	98.6%
年度計	7,245	98.6%	50	97.2%	7,195	98.6%	4,068	100.3%	3,127	96.6%

#### 【用途別処理量の見通し】

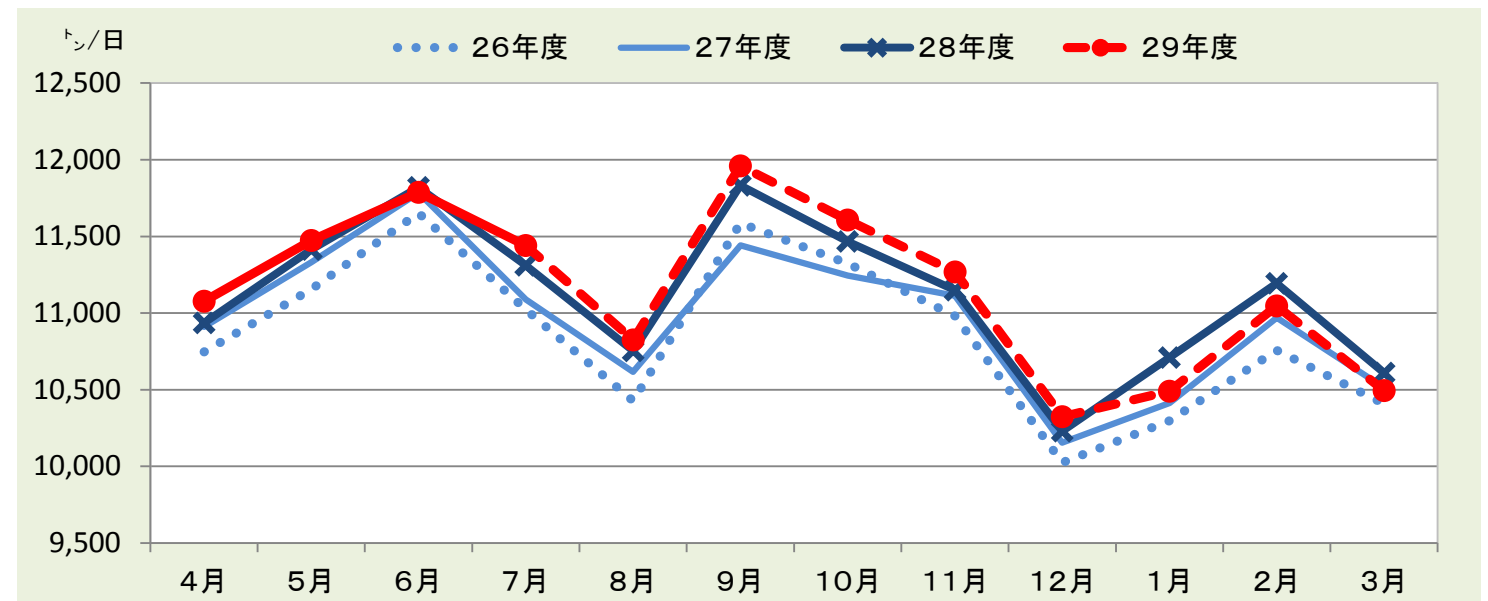
29年度の用途別処理量は、「生乳供給量」が前年度を下回る（7,195千トン・前年比98.6%）見込みのなか、「飲用等向処理量」は前年を上回る（4,068千トン・同100.3%）と見通され、その結果、「乳製品向処理量」は前年を下回る（3,127千トン・同96.6%）見通しである。

※生乳供給量7,195千トン・98.6%（前回見通し98.5%）、飲用等向4,068千トン・100.3%（同99.9%）、乳製品向3,127千トン・96.6%（同96.6%）

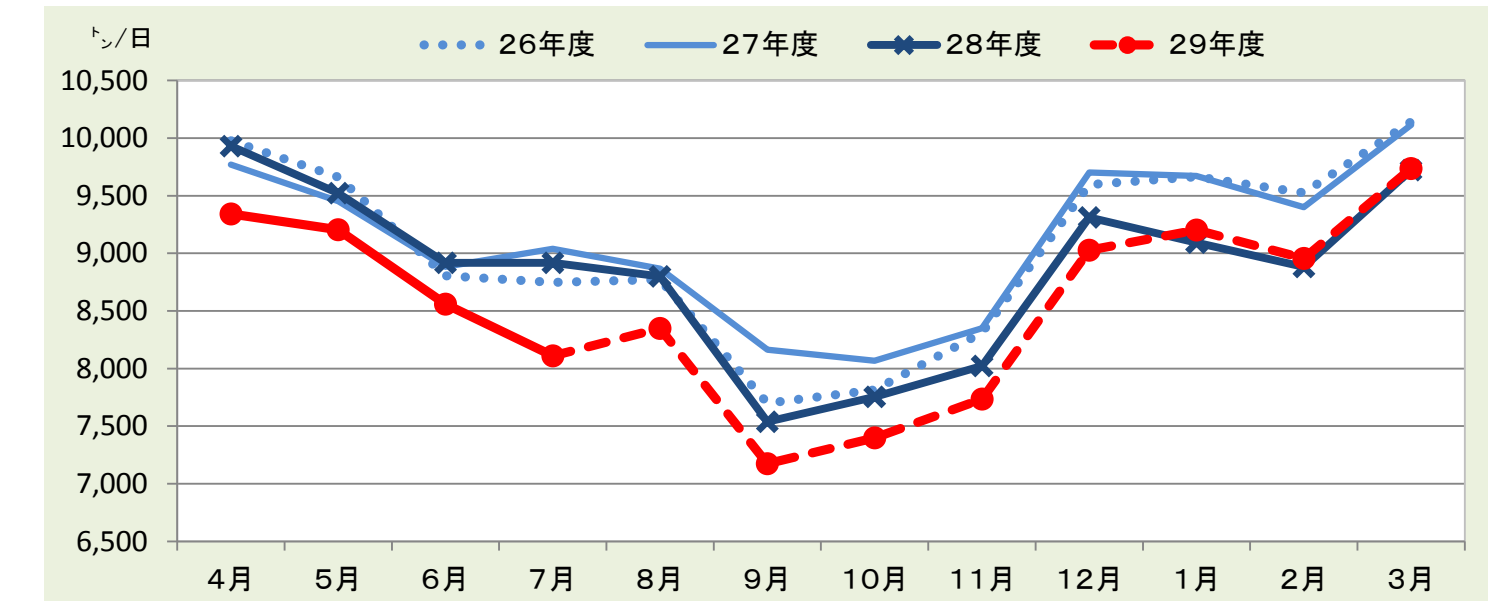
グラフ3-1：生乳供給量（日均量）



グラフ3-2：飲用等向生乳処理量（日均量）



グラフ3-3：乳製品等向生乳処理量（日均量）



#### 4. 都府県の生乳需給の動向

##### 【都府県生乳需給予測の前提】

- ・「移入量(道外移出量)」は、都府県不足量の補完と、北海道ブランド牛乳製造のための必要乳量等を基本に算出。
- ・「脱脂粉乳・バター等向処理量」は、「A-B-C」+「移入量」-「移出量」で算出し、過去5年間の最低数量や直近の需給状況等を加味して算出。

表4-1：平成29年度の都府県の需給（見通し）

	生乳供給量		飲用等向処理量		生クリーム等向・チーズ向		A-B-C	移入量(道外移出量)		移出量	脱脂粉乳・バター等向	
	A	前年比	B	前年比	C	前年比		前年比	前年比		前年比	
4月	294	97.9%	279	100.9%	14	105.0%	2	25	121.5%	0	27	84.2%
5月	304	98.8%	303	100.6%	12	97.6%	-11	31	116.3%	0	20	95.5%
6月	284	99.0%	300	99.5%	11	98.6%	-27	39	104.5%	0	11	100.4%
7月	277	96.8%	299	101.0%	11	80.2%	-33	43	115.7%	0	10	72.0%
8月	267	96.3%	281	100.6%	11	88.0%	-25	41	125.7%		16	88.8%
9月	261	96.9%	299	99.9%	11	83.1%	-48	53	109.6%		5	83.8%
10月	271	97.4%	303	100.8%	11	87.7%	-44	52	115.5%		8	87.7%
11月	265	97.4%	284	100.4%	12	91.5%	-31	41	114.8%		9	82.3%
12月	278	97.4%	268	100.5%	13	90.4%	-3	30	112.8%		26	86.9%
1月	284	97.4%	274	99.0%	10	65.8%	-1	25	93.9%		24	97.3%
2月	262	98.0%	262	98.5%	7	63.5%	-8	24	86.5%		16	95.1%
3月	295	98.0%	272	98.0%	11	85.6%	12	22	88.8%		34	96.7%
第1四半期	881	98.6%	882	100.3%	36	100.5%	-37	95	112.4%	1	58	90.7%
第2四半期	805	96.7%	878	100.5%	33	83.7%	-106	138	115.9%	3	31	81.7%
第3四半期	814	97.4%	855	100.6%	36	89.9%	-78	122	114.6%		44	86.0%
第4四半期	841	97.8%	808	98.5%	29	71.6%	3	71	89.7%		74	96.6%
上期	1,686	97.6%	1,760	100.4%	69	91.8%	-143	233	114.5%	1	89	87.3%
下期	1,655	97.6%	1,664	99.6%	65	80.7%	-75	193	104.0%		118	92.3%
年度計	3,341	97.6%	3,424	100.0%	135	86.0%	-218	425	109.5%	1	207	90.1%

##### 【都府県の生乳需給の見通し】

29年度の都府県の生乳需給は、「生乳供給量」が前年度を下回る（3,341千ト、前年比97.6%）一方で、「飲用等向処理量」は比較的堅調な需要（3,424千ト、同100.0%）が見込まれる。その結果、北海道から都府県への「移入量（道外移出量）」は、需要期を中心に前年水準と比較して増加するものと見込まれる。

※生乳供給量3,341千ト・97.6%（前回見通し97.1%）、飲用等向3,424千ト・100.0%（同99.5%）、移入量（道外移出量）425千ト・109.5%（同109.9%）

#### 5. 乳製品需給の動向

##### 【脱脂粉乳・バター需給予測の前提】

- ・脱脂粉乳・バターの生産量は、脱脂粉乳・バター等向処理見込数量に製造係数（直近の動向等を反映）を乗じて算出。
- ・脱脂粉乳・バターの推定出回り量は、平成29年7月までの推定出回り量データに基づき、代替乳製品の動向等を説明変数とした予測モデル（ARIMAモデル）による推計値を基本に算出。
- ・脱脂粉乳・バターの在庫月数は、前年度の一ヶ月平均消費量を基に算出。

表5-1：平成29年度の脱脂粉乳の需給（見通し）

	期首在庫量		生産量		輸入 売渡し	期末在庫量			推定出回り量	
	A	前年比	B	前年比		C	D	月数	前年比	A+B+C-D
第1四半期	48.2	93.6%	32.6	97.2%	4.2	52.0	4.6	91.6%	33.0	99.4%
第2四半期	52.0	91.6%	23.7	87.2%	8.9	48.4	4.3	94.1%	36.3	105.0%
第3四半期	48.4	94.1%	27.7	93.0%	10.2	52.1	4.6	109.2%	34.3	102.2%
第4四半期	52.1	109.2%	33.6	102.3%	10.7	62.1	5.5	128.7%	34.3	100.1%
上期	48.2	93.6%	56.4	92.7%	13.1	48.4	4.3	94.1%	69.3	102.2%
下期	48.4	94.1%	61.4	97.9%	20.9	62.1	5.5	128.7%	68.6	101.1%
年度計	48.2	93.6%	117.7	95.3%	34.0	62.1	5.5	128.7%	137.9	101.7%

グラフ5：脱脂粉乳の推定出回り量及び在庫量（四半期毎）

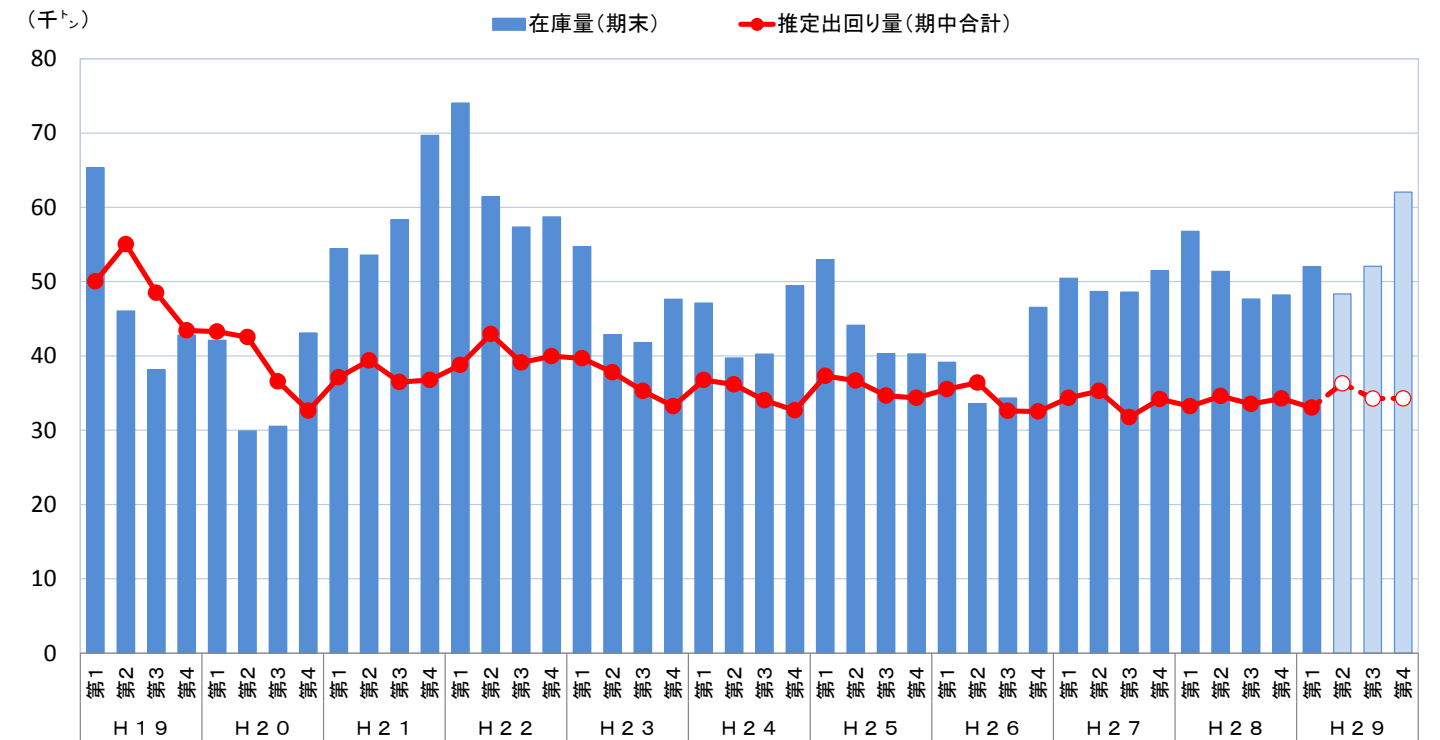
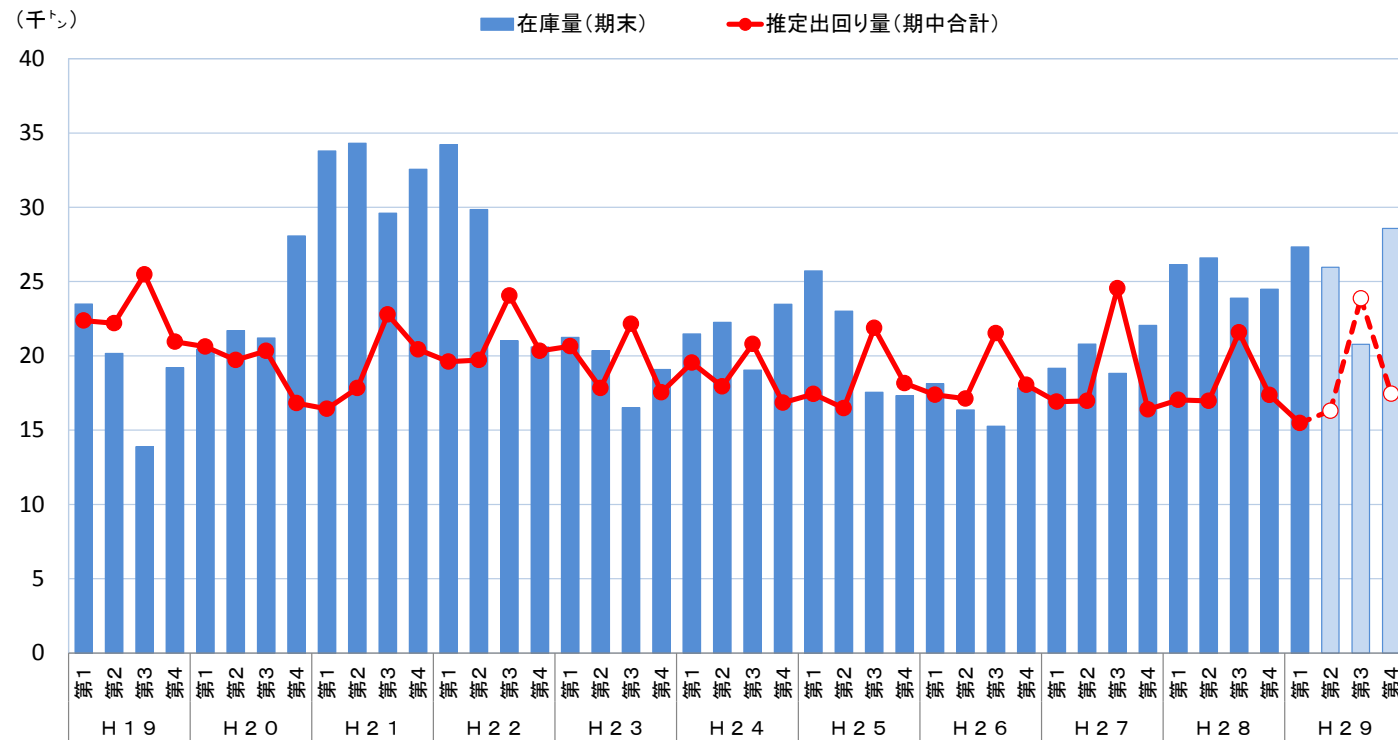


表6-1：平成29年度のバターの需給（見通し）

	期首在庫量		生産量		輸入 売渡し	期末在庫量			推定出回り量	
	A	前年比	B	前年比		C	D	月数	前年比	A+B+C-D
第1四半期	24.5	111.0%	16.8	91.4%	1.6	27.3	4.5	104.5%	15.5	90.9%
第2四半期	27.3	104.5%	12.2	84.7%	2.8	26.0	4.3	97.6%	16.3	96.2%
第3四半期	26.0	97.6%	12.9	92.9%	5.8	20.8	3.4	87.0%	23.9	110.7%
第4四半期	20.8	87.0%	17.4	102.3%	7.9	28.6	4.7	116.7%	17.5	100.6%
上期	24.5	111.0%	28.9	88.5%	4.3	26.0	4.3	97.6%	31.8	93.5%
下期	26.0	97.6%	30.3	98.1%	13.7	28.6	4.7	116.7%	41.3	106.2%
年度計	24.5	111.0%	59.2	93.1%	18.0	28.6	4.7	116.7%	73.1	100.3%

グラフ6：バターの推定出回り量及び在庫量（四半期毎）



【脱脂粉乳・バター需給の見通し】

脱脂粉乳については、29年度の生産量は前年度を下回る（117.7千ト、前年比95.3%）見通し。輸入売渡しとして、今後、29年度輸入予定数量34.0千トが売り渡される予定となっており、29年度末在庫量は62.1千ト（前年度末比+13.9千ト）と増加する見込みである。

バターについては、29年度生産量は前年度を下回る（59.2千ト、同93.1%）見通し。輸入売渡しとして、今後、28年度追加輸入残量及び29年度輸入予定数量の計18.0千トが売り渡される予定となっており、29年度末在庫量は28.6千ト（前年度末比+4.1千ト）と増加する見込みである。

※脱脂粉乳：生産量117.7千ト・95.3%（前回見通し94.0%）、在庫量62.1千ト・128.7%（同127.0%）、推定出回り量137.9千ト・101.7%（同101.1%）

※バター：生産量59.2千ト・93.1%（同93.1%）、在庫量28.6千ト・116.7%（同117.2%）、推定出回り量73.1千ト・100.3%（同100.1%）

6. 需給動向を踏まえた当面の課題と対応について

（1）当面の生乳生産量維持への取り組み

29年度の生乳生産量について、前回公表した見通し（7月25日公表、気温が高い場合の予測値）に対して、北海道では7月は猛暑の影響で落ち込んだが、8月は平年よりも気温が低かったこともあり予測水準に回復。今後、生産の主力となる2～4歳の乳用牛頭数が前年度水準に回復することや、本年度産サイレージ等の給与開始による増産が期待されることから下期にかけて前年を超える見込みであるものの、通期では前年をやや下回る見通しである。

都府県では、7月は猛暑により予測水準となった。8月に入り、東日本では連続した降雨等により落ち込みが少なかった一方で、西日本では厳しい暑さが続いたことや今春の分娩頭数が前年を下回ったことにより予測よりも落ち込んだ。東日本の冷涼な天候により都府県全体では予測よりもやや上回ったが、通期では前年を下回る見通しである。

こうした状況下、今後、猛暑や降雨多湿等による乳用牛への影響が、徐々に顕在化する懸念もあり、酪農生産現場では引き続き、適切な飼養管理に努め、生乳生産の減少を最小限に留める取り組みが肝要である。

（2）飲用牛乳等の安定供給への取り組み

例年9月は、学校給食も再開し、牛乳等需要が最も多い時期である一方で、都府県の生乳生産は暑熱等のため減少することから、北海道からの道外移出乳を増やすことで、都府県の飲用需要を補完しているところ。

8月下旬に発生した台風停滞に伴い太平洋航路が5日間連続して欠航した影響により、道外移出乳が一時的に不足したものの、全国の業界関係者の努力により、飲用牛乳市場の混乱を最小限に抑えることができた。

都府県の生乳生産の減少が見込まれる中、牛乳等需要が堅調であることから、生乳需給は逼迫基調で推移する見通しであることを踏まえ、今後とも、酪農乳業関係者はより緻密な情報共有に努めるとともに、業界一体となり牛乳等の安定供給に努めることが重要である。

（3）乳製品安定供給への取り組み

脱脂粉乳・バターの29年度生産量は、前年を下回って推移する見込みであるものの、酪農乳業一体となって乳製品間の弾力的な供給体制に取り組んでいることに加え、国が本年5月に決定した29年度の輸入予定数量（脱脂粉乳34.0千ト、バター13.0千ト）が、今後、順次売り渡される予定であることから、本年度の乳製品需給は安定して推移する見通しである。

こうした状況を踏まえ、国及び酪農乳業関係者は、今夏の天候要因による生乳需給への影響を注視するとともに、市場に対して適時的確な需給情報の提供に努めることが必要である。

# バターの需給及び輸入の状況等について

平成29年9月29日

# 生乳生産量及び用途別処理量の推移

年度・月	生乳生産量						用途別処理量										
	合計		北海道		都府県		牛乳等向け		乳製品向け		①うちクリーム等向け		②うちチーズ向け		③うち脱粉・バター等向け		
	(トン)	前年比 (%)	(トン)	前年比 (%)	(トン)	前年比 (%)	(トン)	前年比 (%)	(トン)	前年比 (%)	(トン)	前年比 (%)	(トン)	前年比 (%)	(トン)	前年比 (%)	
平成24年度	7,607,356	101.0	3,930,552	100.9	3,676,804	101.0	4,010,692	98.2	3,538,102	104.5	1,276,141	102.1	484,989	97.8	1,745,158	106.9	
25	7,447,032	97.9	3,848,584	97.9	3,598,448	97.9	3,964,647	98.9	3,425,551	96.8	1,297,125	101.6	501,691	103.4	1,602,987	91.9	
26	7,330,871	98.4	3,820,359	99.3	3,510,512	97.6	3,910,165	98.6	3,361,201	98.1	1,323,203	102.0	485,976	96.9	1,537,298	95.9	
27	7,407,326	101.0	3,900,110	102.1	3,507,216	99.9	3,953,233	101.1	3,398,530	101.1	1,294,200	97.8	454,559	93.5	1,636,386	106.4	
28	7,345,954	99.2	3,895,537	99.9	3,450,417	98.4	3,984,122	100.8	3,310,537	97.4	1,282,571	99.1	444,541	97.8	1,548,147	94.6	
28年	4	630,407	100.9	328,129	103.0	302,278	98.6	323,343	100.3	302,617	101.6	108,497	95.5	36,972	100.7	155,446	103.1
	5	653,358	100.7	343,703	102.6	309,655	98.6	350,093	100.8	298,934	100.7	108,039	99.0	38,991	104.5	152,038	101.9
	6	626,344	100.3	336,867	102.3	289,477	98.0	350,395	100.4	271,736	100.3	104,856	98.2	38,373	100.0	127,727	103.1
	7	631,311	100.4	343,203	102.3	288,108	98.3	345,246	102.1	281,816	98.6	111,048	100.8	38,897	91.4	130,809	99.3
	8	610,407	100.3	330,462	101.4	279,945	99.1	328,818	101.9	277,316	98.6	107,557	100.3	39,740	96.9	128,994	99.3
29年	1	618,110	98.6	324,329	98.1	293,781	99.0	320,283	100.9	293,589	96.2	102,123	100.7	37,188	96.3	142,973	87.4
	2	566,357	95.1	297,129	94.9	269,228	95.4	303,656	96.8	258,543	93.3	93,281	93.3	37,186	106.9	116,882	82.6
	3	634,357	98.5	330,802	98.5	303,555	98.5	320,375	99.7	309,974	97.4	112,693	103.5	43,639	111.9	150,734	89.4
	4	616,705	97.8	320,711	97.7	295,994	97.9	323,762	100.1	288,769	95.4	106,562	98.2	36,807	99.6	139,618	89.8
	5	645,243	98.8	339,327	98.7	305,916	98.9	346,737	99.0	294,276	98.4	109,737	101.6	36,603	93.9	146,909	96.6
	6	614,466	98.1	328,075	97.4	286,391	98.9	347,332	99.1	263,078	96.8	107,671	102.7	36,804	95.9	119,007	93.2
	7	610,180	96.7	331,403	96.6	278,777	96.8	346,553	100.4	259,510	92.1	112,288	101.1	36,366	93.5	108,906	83.3
	8	600,546	98.4	330,174	99.9	270,372	96.6	327,532	99.6	268,924	97.0	111,053	103.2	35,898	90.3	120,985	93.8
年度累計		3,087,140	97.9	1,649,690	98.1	1,437,450	97.8	1,691,916	99.6	1,374,557	96.0	547,311	101.4	182,478	94.6	635,425	91.4

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」、(独) 農畜産業振興機構「指定生乳生産者団体別の受託販売生乳数量等」



# バターの需給表

## バター

年度・月	生産量		輸入量				推定期末在庫量				推定出回り量					
	(トン)	前年比 (%)	(トン)	前年比 (%)	機構輸入量 (トン)	前年比 (%)	その他の輸入量 (トン)	前年比 (%)	(トン)	前年比 (%)	機構在庫量 (トン)	前年比 (%)	民間在庫量 (トン)	前年比 (%)	(トン)	前年比 (%)
平成24年度	70,118.0	111.2	9,558.2	69.5	9,391.0	69.1	167.3	96.1	23,469.5	123.0	0.0	-	23,469.5	123.0	75,290.5	96.1
25	64,301.5	91.7	3,655.4	38.2	3,482.3	37.1	173.1	103.5	17,316.7	73.8	0.0	-	17,316.7	73.8	74,109.7	98.4
26	61,651.9	95.9	13,226.5	361.8	12,931.1	371.3	295.4	170.7	17,833.4	103.0	0.0	-	17,833.4	103.0	74,361.7	100.3
27	66,295.5	107.5	13,130.9	99.3	12,743.3	98.5	387.7	131.2	22,050.0	123.6	0.0	-	22,050.0	123.6	75,209.8	101.1
28	63,583.3	95.9	12,062.2	91.9	11,776.7	92.4	285.5	73.6	24,481.0	111.0	0.0	-	24,481.0	111.0	73,214.5	97.3
28年 6	5,392.6	108.3	3,457.2	231.2	3,443.5	232.7	13.7	89.0	27,818.3	137.2	1,673.5	150.0	26,144.8	136.5	6,485.1	112.2
7	5,443.0	102.4	1,533.6	208.4	1,513.7	215.6	19.9	59.1	28,512.1	141.0	1,412.8	-	27,099.2	134.0	6,282.8	103.1
8	5,352.7	103.9	302.4	137.9	268.6	145.2	33.8	98.8	28,388.9	142.1	1,133.7	-	27,255.2	136.5	5,778.3	102.7
9	3,584.5	84.6	832.0	18.4	813.9	18.1	18.1	57.2	27,830.8	119.0	1,232.9	47.6	26,597.9	127.9	4,974.5	93.0
10	4,018.0	91.3	1,887.6	36.7	1,853.2	36.3	34.4	103.7	27,042.8	115.0	799.1	38.7	26,243.7	122.3	6,693.6	71.2
11	4,161.4	98.8	2,871.1	-	2,839.8	-	31.3	73.9	27,322.2	135.8	2,247.2	-	25,075.0	124.6	6,753.1	87.3
12	5,695.0	92.2	17.3	40.7	0.0	-	17.3	40.7	24,826.3	131.9	943.1	-	23,883.3	126.9	8,208.1	109.2
29年 1	6,030.0	88.6	15.3	120.1	0.0	-	15.3	120.1	26,603.1	126.2	943.1	-	25,660.0	121.7	4,268.6	93.6
2	4,883.0	82.2	34.8	212.6	0.0	-	34.8	212.6	25,312.0	116.9	0.0	-	25,312.0	116.9	6,208.9	115.4
3	6,082.0	88.4	35.0	73.6	20.9	-	14.2	29.8	24,481.0	111.0	0.0	-	24,481.0	111.0	6,948.0	106.3
4	5,718.0	87.9	1,022.1	-	995.5	-	26.6	90.0	26,034.5	112.4	995.5	-	25,039.0	108.1	5,186.6	95.4
5	6,190.0	96.2	1,064.3	104.1	1,041.3	104.2	23.0	99.0	28,027.5	110.1	995.5	128.2	27,032.0	109.5	5,261.3	101.7
6	4,854.0	90.0	555.7	16.1	525.3	15.3	30.3	221.4	28,324.0	101.8	995.5	59.5	27,328.5	104.5	5,113.1	78.8
7	4,307.0	79.1	1,035.9	67.5	1,002.2	66.2	33.7	169.3	28,175.5	98.8	995.5	70.5	27,180.0	100.3	5,491.4	87.4
8	4,961.0	92.7	504.4	166.8	478.8	178.2	25.7	75.9	28,412.6	100.1	1,350.6	119.1	27,062.0	99.3	5,228.3	90.5
年度累計	26,030.0	89.4	4,182.3	65.7	4,043.1	64.7	139.2	115.9	28,412.6	100.1	1,350.6	119.1	27,062.0	99.3	26,280.7	90.1

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」、(独)農畜産業振興機構調べ

注1：機構輸入量は、検収受け入れの時点で整理している。

2：その他の輸入量は飼料用、沖縄用、学給用、航空機用（本邦と外国との間を往来するもの）および見本市販売用の輸入量を除く。

3：四捨五入の関係で端数は合わない場合がある。

# バターの需給表(乳業メーカー等13社)

乳製品関係

バター等の需給表(国内乳業メーカー等13社の集計)

種類別バターの需給状況

年度・月	生産量 <sup>注2</sup>								輸入量 <sup>注3</sup>								消費量(出回り量) <sup>注2,注5</sup>								月末在庫量								
	バラ				ポンド・シート等				バラ				ポンド・シート等				バラ				ポンド・シート等				バラ				ポンド・シート等				
	(ト)	前年比(%)	(ト)	前年比(%)	(ト)	前年比(%)	(ト)	前年比(%)	(ト)	前年比(%)	(ト)	前年比(%)	(ト)	前年比(%)	(ト)	前年比(%)	(ト)	前年比(%)	(ト)	前年比(%)	(ト)	前年比(%)	(ト)	前年比(%)	(ト)	前年比(%)	(ト)	前年比(%)	(ト)	前年比(%)	(ト)	前年比(%)	(ト)
平成26	59,061	100.1	18,470	115.4	25,096	93.4	15,495	96.2	7,432	1,008.1	7,432	1,008.1	0	-	0	-	65,771	100.2	26,250	125.4	24,306	86.4	15,214	91.8	17,081	104.4	11,528	97.1	4,222	123.0	1,330	126.8	
27	63,514	107.5	20,267	109.7	27,055	107.8	16,192	104.5	5,003	67.3	4,834	65.0	169	-	0	-	64,439	98.0	23,637	90.0	24,671	101.5	16,131	106.0	21,159	123.9	12,992	112.7	6,776	160.5	1,392	104.6	
28	62,101	97.8	19,732	97.4	25,902	95.7	16,466	101.7	4,508	90.1	4,450	92.1	57	33.9	0	-	64,379	99.9	22,451	95.0	25,313	102.6	16,614	103.0	23,389	110.5	14,723	113.3	7,422	109.5	1,244	89.4	
8	4,993	105.0	1,440	114.1	2,160	102.9	1,393	99.8	120	-	120	-	0	-	0	-	4,890	98.5	1,869	90.3	1,822	100.2	1,200	111.3	26,434	136.5	15,771	134.3	9,089	154.7	1,575	90.3	
9	4,014	86.1	1,331	105.5	1,423	72.7	1,260	87.3	409	43.0	409	47.8	0	-	0	-	4,992	105.9	2,002	101.1	1,638	115.4	1,352	102.9	25,865	127.6	15,508	130.5	8,873	136.3	1,484	79.1	
10	4,359	94.2	902	86.4	1,945	93.7	1,512	100.2	780	48.0	744	48.0	36	49.4	0	-	5,434	98.2	1,978	91.4	2,078	103.0	1,378	102.1	25,570	121.9	15,176	123.3	8,776	132.2	1,618	79.5	
11	4,297	100.0	948	96.6	1,662	99.9	1,688	102.1	626	228.2	626	228.2	0	-	0	-	6,020	102.9	2,016	106.8	2,409	102.8	1,595	98.7	24,473	124.2	14,733	126.2	8,029	134.8	1,711	82.6	
12	5,361	93.8	1,735	92.3	2,132	86.9	1,494	108.4	160	-	160	-	0	-	0	-	6,767	96.2	1,889	96.5	2,765	93.4	2,113	99.9	23,227	126.3	14,740	127.0	7,395	135.7	1,092	81.8	
29年 1	5,960	89.6	2,030	79.2	2,381	90.4	1,549	106.2	0	-	0	-	0	-	0	-	4,354	94.6	1,550	84.5	1,796	103.0	1,008	98.4	24,833	121.5	15,220	123.4	7,980	125.8	1,633	92.3	
2	4,777	83.5	1,337	70.0	2,008	82.1	1,432	105.0	90	-	90	-	0	-	0	-	5,302	101.2	1,614	102.3	2,062	100.1	1,626	101.7	24,397	116.6	15,033	118.7	7,926	117.8	1,439	93.9	
3	5,444	86.8	1,950	81.2	2,096	81.1	1,398	109.1	0	-	0	-	0	-	0	-	6,452	107.0	2,260	108.9	2,599	102.6	1,593	112.0	23,389	110.5	14,723	113.3	7,422	109.5	1,244	89.4	
4	5,803	90.2	2,342	98.4	2,198	77.6	1,262	103.1	0	-	0	-	0	-	0	-	5,295	97.3	1,728	94.0	2,362	97.6	1,205	101.9	23,897	107.9	15,337	113.3	7,258	101.0	1,301	90.8	
5	6,075	98.2	2,346	105.7	2,555	89.9	1,174	104.6	575	432.4	575	432.4	0	-	0	-	4,690	97.2	1,571	87.5	1,889	100.8	1,229	106.6	25,857	109.3	16,687	118.4	7,924	97.2	1,246	88.8	
6	4,958	95.4	1,667	97.4	2,125	93.2	1,165	96.6	354	27.8	318	25.0	36	-	0	-	4,953	100.4	1,622	94.6	2,078	107.0	1,253	98.1	26,215	104.1	17,050	111.0	8,007	94.2	1,158	87.0	
7	4,359	85.9	1,010	57.8	2,129	99.4	1,220	102.7	298	32.4	298	33.2	0	-	0	-	4,707	94.7	1,621	84.3	1,988	104.1	1,098	96.6	26,166	99.8	16,737	104.1	8,148	93.1	1,280	92.6	
8	4,797	96.1	902	62.6	2,340	108.4	1,555	111.6	100	83.3	100	83.3	0	-	0	-	4,977	101.8	1,781	95.3	2,049	112.5	1,147	95.6	26,085	98.7	15,958	101.2	8,439	92.9	1,688	107.2	
29年度累計	25,992	93.2	8,267	87.0	11,347	92.6	6,376	104.0	1,327	54.3	1,291	53.3	36	166.5	0	-	24,622	98.3	8,323	91.0	10,366	104.0	5,932	99.7	-	-	-	-	-	-	-	-	

資料：(独)農畜産業振興機構調べ

注1：国内乳業メーカー等13社。

2：生産量・消費量は、バラバターからポンド・シートなどに改装した数量を含む。

3：輸入量は機構輸入分のみで、数量については売渡し及び検収月で計上している。

4：消費量は、「生産量」+「輸入量」-「在庫増減量」で算出。

5：四捨五入の関係で端数は合わない場合がある。

# 平成29年度のバター輸入・売渡スケジュール

(単位:トン)

品目	区分	入札日	入札方式	落札数量 (入札数量)	内容	引渡期限	平成29年度												平成30年度			
							4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月以降	
バター	28年度入札	12月15日	一般方式	1,000.0 (1,000.0)	バラ	平成29年5月31日	輸入					1,000.0										
		1月31日	SBS方式	1,310.0 (1,500)	バラ・小物	平成29年6月30日	957.9		345.8													
		2月16日	SBS方式	722.8 (1,500)	バラ	平成29年7月14日	82.4		139.6		472.1		23.8									
		3月9日	SBS方式	596.6 (2,104.5)	バラ	平成29年7月31日	40.0		530.1													
		3月23日	一般方式	1,336.4 (1,507.9)	バラ	平成29年9月29日	輸入					1,336.4										
	28年度輸入・売渡数量計①			4,965.8																		
	29年度入札	4月20日	SBS方式	575.0 (2,500)	バラ・小物	平成29年9月30日	入札	99.8		475.2												
		5月25日	SBS方式	684.2 (2,500)	バラ・小物	平成29年10月31日	入札	24.9		659.4												
		6月22日	SBS方式	462.3 (2,000)	バラ・小物	平成29年11月30日	入札	462.3														
		7月20日	SBS方式	688.1 (2,000)	バラ・小物	平成29年12月22日	入札	688.1														
		8月24日	SBS方式	172.4 (2,000)	バラ・小物	平成30年1月31日	入札	172.4														
		9月14日	SBS方式	231.0 (2,000)	バラ・小物	平成30年2月28日	入札	231.0														
		10月19日	SBS方式	(2,000)	バラ・小物	平成30年3月30日	入札	2,000.0														
		11月16日	SBS方式	(2,000)	バラ・小物	平成30年5月31日	入札	2,000.0														
29年度輸入・売渡予定数量計②			13,000																			
合計(①+②)			17,965.8																			
売渡数量(機構→売渡先)							0.0	1,040.3	525.3	1,002.2	123.6	500.0	2,995.8	462.3	688.1	172.4	231.0	2,000.0	0.0	2,000.0	6,187.0	
累計							0.0	1,040.3	1,565.7	2,567.8	2,691.4	3,191.5	6,187.2	6,649.5	7,337.6	7,510.0	7,741.0	9,741.0	9,741.0	11,741.0	17,928.0	

# 脱脂粉乳の需給表

## 脱脂粉乳

年度・月	生産量		輸入量				推定期末在庫量				推定出回り量						
	(トン)	前年比 (%)	(トン)	前年比 (%)	機構輸入量		その他の輸入量		(トン)	前年比 (%)	機構在庫量		民間在庫量				
					(トン)	前年比 (%)	(トン)	前年比 (%)	(トン)	前年比 (%)	(トン)	前年比 (%)	(トン)	前年比 (%)	(トン)	前年比 (%)	
平成24年度	141,431.1	104.8	563.6	669.9	0.0	-	563.6	669.9	49,458.8	103.9	0.0	-	49,458.8	103.9	140,155.7	95.9	
25	128,817.5	91.1	5,048.4	895.7	4,969.9	-	78.5	13.9	40,264.4	81.4	0.0	-	40,264.4	81.4	143,060.3	102.1	
26	120,921.5	93.9	23,775.0	470.9	22,396.8	450.6	1,378.2	-	46,542.0	115.6	0.0	-	46,542.0	115.6	138,419.0	96.8	
27	130,184.0	107.7	15,881.8	66.8	15,217.6	67.9	664.2	48.2	56,419.5	121.2	4,940.9	-	51,478.6	110.6	136,188.3	98.4	
28	123,499.9	94.9	4,999.3	31.5	3,908.2	25.7	1,091.2	164.3	48,199.0	85.4	0.0	0.0	48,199.0	93.6	136,719.7	100.4	
28年	6	9,607.5	100.3	1,588.3	40.6	1,545.4	39.8	42.9	186.4	58,748.4	113.1	1,985.3	132.2	56,763.1	112.6	11,265.8	88.3
	7	10,032.6	99.0	37.6	1.3	0.0	0.0	37.6	114.1	56,943.2	110.1	0.0	0.0	56,943.2	112.0	11,875.3	89.0
	8	9,849.7	99.4	69.7	41.4	0.0	0.0	69.7	561.5	55,594.2	110.4	0.0	0.0	55,594.2	110.8	11,268.3	98.5
	9	7,330.0	85.2	1,682.6	63.4	1,656.1	64.4	26.5	32.3	53,024.1	103.9	1,656.1	70.1	51,368.0	105.6	11,582.8	109.3
	10	7,915.4	93.8	183.8	7.0	158.8	6.6	25.0	11.8	49,841.1	97.4	1,814.9	38.6	48,026.3	103.3	11,282.1	103.3
	11	8,828.0	96.9	33.3	24.8	8.8	9.1	24.5	65.4	47,738.1	94.7	1,823.6	38.8	45,914.5	100.5	10,964.3	109.4
	12	13,083.8	94.2	130.3	77.5	99.3	75.1	31.0	86.5	49,583.1	92.9	1,922.9	40.1	47,660.3	98.1	11,369.1	102.5
29年	1	11,154.0	88.4	8.8	8.5	0.0	0.0	8.8	120.6	50,542.9	89.8	1,922.9	40.1	48,620.0	94.4	10,203.0	104.0
	2	9,425.0	86.0	186.9	99.3	0.0	0.0	186.9	422.3	49,191.9	86.6	1,922.9	38.9	47,269.0	91.2	10,962.9	102.9
	3	12,308.0	91.8	498.5	319.2	0.0	-	498.5	319.2	48,199.0	85.4	0.0	0.0	48,199.0	93.6	13,799.4	99.2
	4	11,637.0	93.2	831.6	567.5	674.2	679.8	157.4	332.3	50,413.0	87.3	0.0	0.0	50,413.0	88.5	10,254.6	90.5
	5	11,555.0	100.6	1,276.8	294.7	1,117.1	327.9	159.7	172.7	51,574.6	87.7	793.6	180.4	50,781.0	87.0	11,670.2	107.9
	6	9,452.0	98.4	4,564.2	287.4	4,386.3	283.8	177.9	414.6	54,002.4	91.9	1,985.3	100.0	52,017.1	91.6	11,588.4	102.9
	7	8,605.0	85.8	4,821.6	-	4,643.6	-	177.9	473.6	54,952.4	96.5	629.4	-	54,323.0	95.4	12,476.6	105.1
	8	9,593.0	97.4	1,564.4	-	1,493.8	-	70.6	101.3	54,314.5	97.7	1,229.5	-	53,085.0	95.5	11,795.3	104.7
年度累計	50,842.0	95.1	13,058.7	573.9	12,315.0	620.3	743.6	256.4	54,314.5	97.7	1,229.5	-	53,085.0	95.5	57,785.2	102.2	

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」、(独)農畜産業振興機構調べ

注1：機構輸入量は、検収受け入れの時点で整理している。

2：その他の輸入量は飼料用、沖縄用、学給用、航空機用（本邦と外国との間を往来するもの）および見本市販売用の輸入量を除く。

3：四捨五入の関係で端数は合わない場合がある。

# 平成29年度の脱脂粉乳輸入・売渡スケジュール

(単位:トン)

品目	区分	入札日	入札方式	落札数量 (入札数量)	引渡期限	29年度												
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
脱脂粉乳	29年度入札	2月14日	一般方式	2,000 (2,000)	平成29年6月15日	輸入			売渡		売渡							
									1,355.9		629.4							
		2月21日	SBS方式	5,000 (5,000)	平成29年6月15日	輸入・売渡												
						174.9	323.5	2,176.5	410.5	868.7	1,046.0							
		3月2日	SBS方式	6,000 (6,000)	平成29年7月14日	輸入・売渡												
						499.4	0.0	1,018.1	4,183.3	0.0	299.2							
		6月8日	一般方式	2,000 (2,000)	平成29年10月31日			入札	輸入			売渡						
													2,000.0					
		6月13日	SBS方式	5,000 (5,000)	平成29年12月22日			入札			輸入・売渡							
									49.8	25.0	335.8				4,589.4			
6月27日	SBS方式	5,000 (5,000)	平成30年2月28日			入札					輸入・売渡							
									24.9						4,975.1			
7月25日	SBS方式	5,000 (5,000)	平成30年3月30日			入札					輸入・売渡							
									24.4							4,975.6		
10月26日	SBS方式	(4,000)	平成30年3月30日								入札	輸入・売渡						
																4,000.0		
29年度輸入・売渡 予定数量計				34,000														
売渡数量(機構→売渡先)						674.2	323.5	3,194.6	5,999.6	893.7	2,359.5	0.0	2,000.0	4,589.4	0.0	4,975.1	8,975.6	
累計						674.2	997.7	4,192.3	10,191.9	11,085.6	13,445.1	13,445.1	15,445.1	20,034.5	20,034.5	25,009.6	33,985.2	

注: 赤字は未確定値(欠減、遅延などで売渡数量は変動することに留意が必要)

# 輸入バターの最終需要者までの流通販売計画

(平成29年1～6月)

(単位:トン、%)

販売先(業態)	数量	割合
自社使用	1,154.3	26.5
乳業・アイスクリーム	529.1	12.2
はっ酵乳・乳酸菌飲料	50.0	1.1
加工油脂	473.0	10.9
製パン	737.1	16.9
製菓	1,011.6	23.3
飲料	0.0	0.0
調理食品	86.2	2.0
外食・ホテル	105.7	2.4
小売	203.9	4.7
合計	4,350.9	100.0

注:平成29年1～6月実施分のバター売渡入札結果について、落札者から提出された流通販売計画を取りまとめたものです。

2017年9月第3週 バター店頭調査結果

1. 調査方法

調査員が店舗を訪問し、店頭における対象商品の陳列状況及び購入制限などの告知・表示<sup>注5</sup>状況を調査。

2. 対象商品

乳業大手4社等のナショナルブランド（NB）バター（加塩、無塩、ミニ、カップ等）15品。  
プライベートブランド（PB）バター主要5品<sup>注1</sup>

3. 調査店舗数

京浜61店+京阪神39店 = 100店<sup>注2、注3</sup>

4. 調査日

9月15日（金）～9月17日（日）<sup>注4</sup>

注1：対象商品は、国内で流通する主要な20品目のバター（主に200グラム以下/個）。  
注2：調査店舗数は、基本は100店舗で実施しているものの、店舗状況等により調査が出来ないこともあるため変動が生じる。  
注3：調査店舗は、スーパーマーケットが対象。  
注4：調査日は、調査期間のうちいずれか1日で、調査時間は不定期。  
注5：購入制限の告知・表示例は、「お一人様1点限り」などを指す。

5. 調査結果

(1) 対象商品の陳列状況



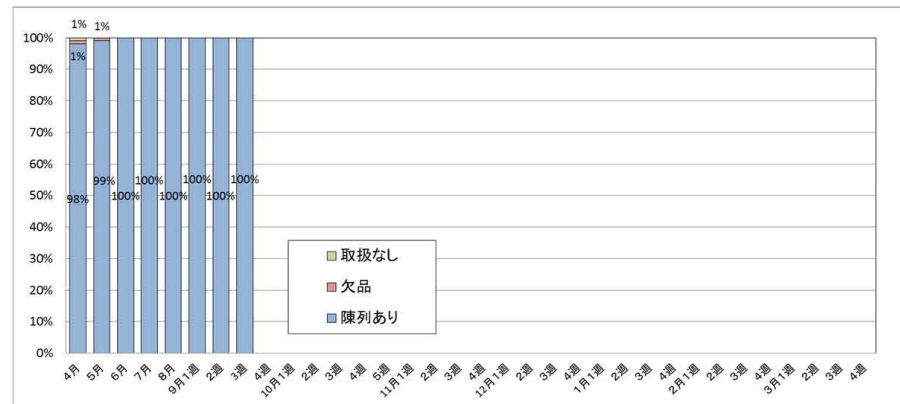
全100店舗

陳列あり…対象商品の陳列あり

欠品…対象商品の取扱（棚）はあるが、陳列がない

取扱なし…対象商品の取扱（棚）がない

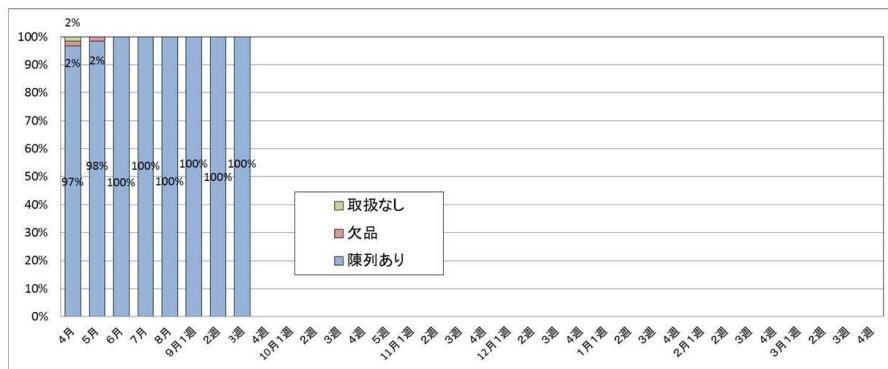
(参考：推移)



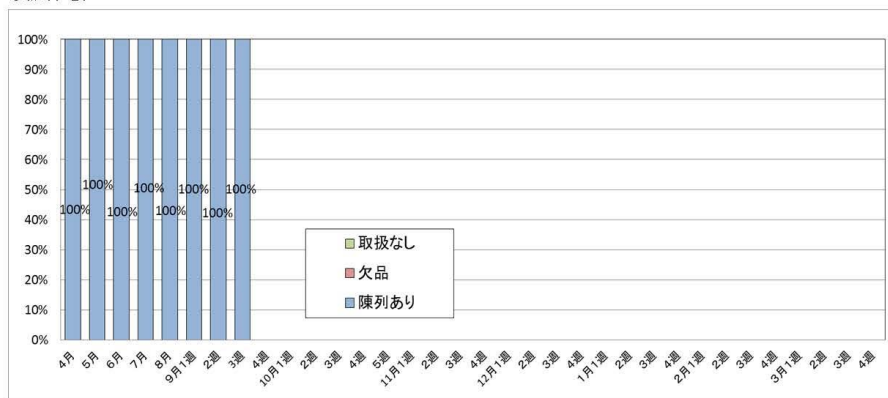
# ALIC HP掲載

(参考：エリア別推移)

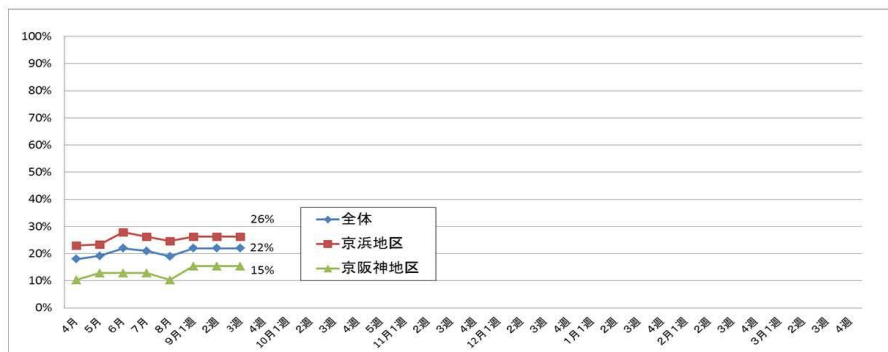
## 京浜地区



## 京阪神地区



## (2) 購入制限 (例:「お一人様1点限り」など) の店頭告知・表示状況



・本資料は、ソフトプレーンフィールド株式会社へ委託調査を実施し、集計した数値をまとめたものである。  
 ・本情報は、情報提供を目的とするものであり、提供した情報の利用に関連して、万が一、不利益が被る事象等が生じたとしてもalicは一切の責任を負いません。



小売店におけるバターの販売状況（9月11日～9月17日）

本資料は、日本経済新聞社のPOS情報サービスによる。

1店舗当り販売重量は、全国の小売店（スーパーマーケット）の販売データを集計しており、調査対象店舗数は約670店である。

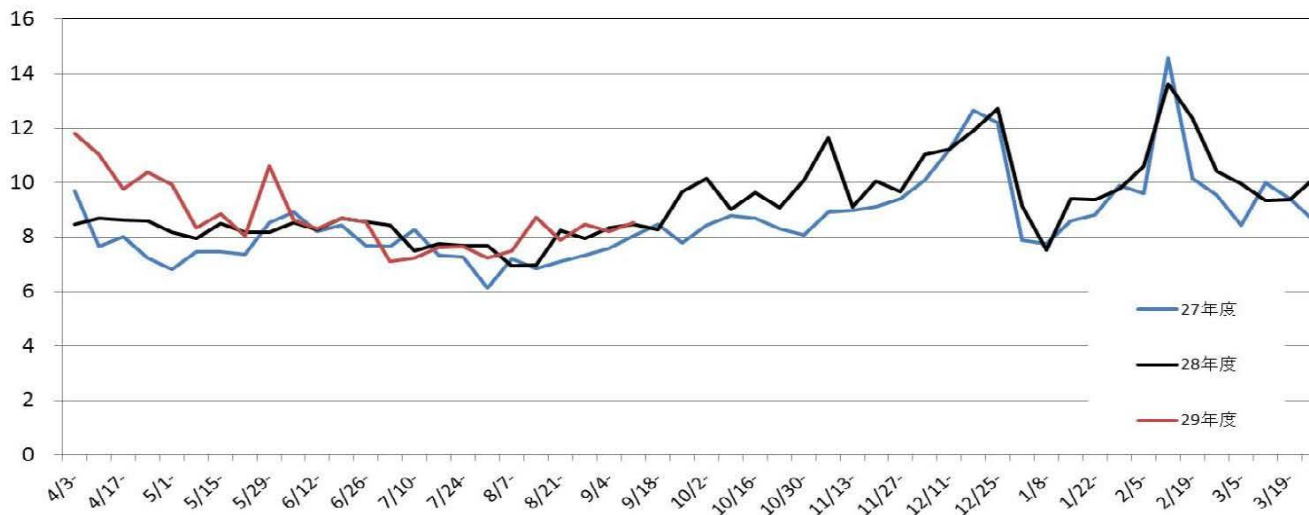
本資料のバターとは、レーズン及びオレンジ等を含むもの、その他バターの類似品を含まない。

日付はデータ観測期間（月曜～日曜）の初日を表示しており、現在表示の日付は全て平成29年度に合わせている。

**1店舗当り販売重量**

1店舗当り販売重量については、8.53kg（前年同期比100.6%、+0.05kg）となった。

(kg) 1店当りバター200グラム(加塩)の平均販売重量(調査対象店舗のみ)



<利用上の注意>

これまで、バターの販売重量は、㈱インテージのPOSデータに基づき算出した全国推定量を掲載していましたが、平成29年度は、日本経済新聞社のPOS情報サービスに基づく調査対象店舗のみの販売実績（平成27～29年度）を掲載しています。

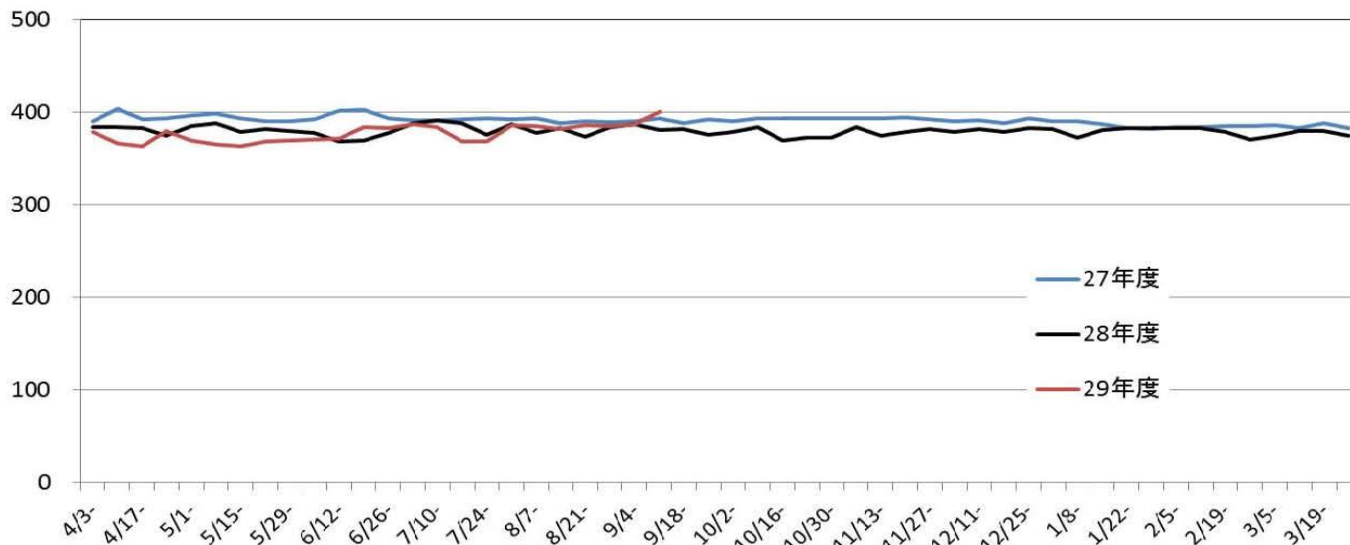
なお、これまで掲載していた平成28年度までのデータ（㈱インテージ版）はこちらに掲載しています。

平均価格

平均価格<sup>(注)</sup>については、400.9円/個（前年同期比105.2%、19.9円高）となった。

(円/個)

バター200グラム(加塩)の平均価格(調査対象店舗のみ)



注：平均価格は、調査対象としている箱に入った200グラムの加塩バター製品、それぞれの平均価格の単純平均である。  
価格は消費税を含まない。

<利用上の注意>

これまで、バターの200グラム(加塩)平均価格は、(株)インテージのPOSデータに基づき算出した全国推定量を掲載していましたが、平成29年度は、日本経済新聞社のPOS情報サービスに基づく調査対象店舗のみの平均価格(平成27~29年度)を掲載しています。

なお、これまで掲載していた平成28年度までのデータ(株)インテージ版)はこちらに掲載しています。

## 平成29年度のバター及び脱脂粉乳の輸入枠の検証（9月）

平成29年9月29日

農林水産省生産局

## 1 平成29年度の国家貿易における輸入の改善

- (1) 今年度は、1月に29年度全体の需給を見通した輸入枠（バター、脱脂粉乳それぞれ1万3千トン）を示し、5月及び9月に検証を行うこととした。
- (2) 5月の検証では、脱脂粉乳の需要の増加に備え、脱脂粉乳の輸入枠を1万3千トンから3万4千トンに拡大（バターについては変更なし）。

## 2 バターの平成29年度の需給見通しと29年度の輸入枠

- (1) 29年8月末の在庫量は2万8千トン（対前年比+0.1%）と前年とほぼ同水準。輸入枠分1万3千トンの入札を順次実施しているが、現在、1万トンの輸入枠が残っている。
- 引き続き入札を実施するとともに、輸入枠の残り1万トンとは別に、ALICが保有する2千トンを需要期前に売り渡すこととしており、今後とも安定的に推移する見込み。
- (2) 今回、改めて過去6年間の各月の最小生産量と最大消費量を用いて、29年度8月末以降の在庫量を以下のとおり試算。

○次の試算を29年度8月以降の各月に実施

## 【8月の試算例】

$$\begin{aligned} \text{8月末の在庫量} &= \text{29年7月末の在庫量} + \text{過去6年間の8月の最小生産量} \\ &\quad - \text{過去6年間の8月の最大消費量} + \text{29年8月の輸入量} \end{aligned}$$

試算の結果、各月末の在庫量は、全て必要在庫量（翌月消費量の2.5倍）を上回るため、輸入枠1万3千トンは変更しない予定。

### 3 脱脂粉乳の平成29年度の需給見通しと29年度の輸入枠

(1) 29年8月末の在庫量は5万4千トン（対前年比▲2.3%）と前年とほぼ同水準。輸入枠3万4千トンのうち、3万トンが落札、順次輸入されている。

引き続き、輸入枠の残り4千トンの入札を実施するとともに、輸入枠の残りとは別に、ALICが保有する2千トンを売り渡すこととしており、今後とも安定的に推移する見込み。

(2) 今回、改めて過去6年間の各月の最小生産量と最大消費量を用いて、29年度8月末以降の在庫量を以下のとおり試算。

○次の試算を29年度各月に実施

#### 【8月の試算例】

$$\begin{aligned} \text{8月末の在庫量} &= \text{29年7月末の在庫量} + \text{過去6年間の8月の最小生産量} \\ &\quad - \text{過去6年間の8月の最大消費量} \times 1.099^* + \text{8月の輸入量} \end{aligned}$$

※ 5月の検証の際、脱脂粉乳の需要が更に伸びると予想されたため、直近の最大伸び率（28年9月の対前年比+9.9%）を乗じた。今回も同様に試算。

試算の結果、各月末の在庫量は、全て必要在庫量（翌月消費量の2.5倍）を上回るため、輸入枠3万4千トンは変更しない予定。